

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2020No.199】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：グスタフ・マーラー

曲名：交響曲第1番ニ長調

演奏：アンドリス・ネルソンス指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/53127#>

2020年12月12日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



上記の他、下記が演奏されました。

イゴール・ストラヴィンスキー ヴァイオリン協奏曲

バイバ・スクリデ (ヴァイオリン)

[12月16日の研究室日誌](#)で報告した11.2MHzDSD配信のプログラムです。

研究室日誌で報告のとおり、スクリデによるストラヴィンスキーのヴァイオリン協奏

曲は、1 昨年 6 月ネルソンス指揮の[ゲヴァントハウスの演奏会](#)で聴いています。ネルソンスと同じラトヴィア出身ということで、息のあった演奏でスクリデの切れ味の良いボウイングで難曲を弾きこなす様子を思い出しました。

マーラーの交響曲第 1 番は、ベルリンフィルで再々演奏されますが、今回も安定した演奏です。無観客の演奏ですので、まるでベルリンフィルを貸し切ったような印象で聴いていました。

IJ の 11.2MHzDSD 配信の聴き逃し配信期間が残っていたので聴き比べてみました。11.2MHzDSD 配信は、PC から USB アクキュライザー経由で Sonica DAC の USB 入力へ、BPODCH は DMR-UBZ で 192KHz にアップサンプリングしてからデジタルアクキュライザー経由で Sonica DAC の S/PDIF 入力しています。



音質的には 11.2MHzDSD 配信はきめ細かく、DMR-UBZ による BPODCH 受信はダイレクト感があります。このような比較が容易にできるのは、デジタル技術の発展の賜物でしょう。

以上